



地域連携で取り組む

# 鳥獣害対策研修会を開催しました！

久利・大屋地区小さな拠点推進協議会

久利・大屋地区では、深刻な課題となっているイノシシやサルによる鳥獣被害を減少させるため、2つの地区が連携し、合同の研修会を開催しました。

講演では、麻布大学の江口教授から過去25年間の被害面積と捕獲頭数の推移が示され、現在の捕獲頭数が25年前の6.7倍となっている一方で、被害面積は変わらないデータから「捕獲だけでは効果がない」との見解が示されました。

その被害対策のカギとして、以下の“総合的な対策”が提案されました。

- ・STEP① 放任果樹や作物残渣を除去する環境管理
- ・STEP② 田畑を囲う適切な防護柵の設置
- ・STEP③ 適切な捕獲

参加者からは「捕獲だけでなく環境整備の重要性を実感した」「地区が連携し、一体となって取り組むことが大切」といった感想が寄せられました。今後も住民一人ひとりが力を合わせ、持続可能な地域づくりを目指していきます。

開催日時 令和6年12月1日(日) 13:30~15:30

場 所 大屋まちづくりセンター

参加者数 31人(うち、久利地区 17人 / 大屋地区 14人)



講師

江口 祐輔 先生

麻布大学 生命・環境科学部 教授  
フィールドワークセンター長



熱心に聴講する参加者